

遊佐町告示第6号

地方自治法(昭和22年法律第67号)第101条第1項の規定により、第523回遊佐町議会定例会を平成30年3月5日遊佐町役場に招集する。

平成30年2月6日

遊佐町長 時田 博機

第523回遊佐町議会定例会会議録

議事日程(第1号)

平成30年3月5日(月曜日) 午前10時 開議(本会議)

日程第1 会議録署名議員の指名について

日程第2 会期の決定について

日程第3 諸般の報告

議長報告

組合議会報告

一般行政報告

教育行政報告

日程第4 報第1号 報酬等に関する調査特別委員会調査結果報告

※専決処分

日程第5 議第1号 平成29年度遊佐町一般会計補正予算(第6号)の専決処分の承認について

※一般議案

日程第6 議第2号 平成29年度遊佐町一般会計補正予算(第7号)

日程第7 議第3号 平成29年度遊佐町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

日程第8 議第4号 平成29年度遊佐町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)

日程第9 議第5号 平成29年度遊佐町介護保険特別会計補正予算(第4号)

日程第10 議第6号 平成29年度遊佐町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

日程第11 議第7号 平成29年度遊佐町水道事業会計補正予算(第4号)

日程第12 ※補正予算審査特別委員会の設置について

☆

本日の会議に付した事件

(議事日程第 1 号に同じ)

☆

出 欠 席 議 員 氏 名

応招議員 12名

出席議員 12名

1 番	齋 藤	武 君	2 番	松 永	裕 美 君
3 番	菅 原	和 幸 君	4 番	筒 井	義 昭 君
5 番	土 門	勝 子 君	6 番	赤 塚	英 一 君
7 番	阿 部	満 吉 君	8 番	佐 藤	智 則 君
9 番	高 橋	冠 治 君	10 番	土 門	治 明 君
11 番	斎 藤	弥 志 夫 君	12 番	堀	満 弥 君

欠席議員 なし

☆

説明のため出席した者職氏名

町 長	時 田 博 機 君	副 町 長	本 宮 茂 樹 君
総務課長	池 田 与 四 也 君	企画課長	堀 修 君
産業課長	佐 藤 廉 造 君	地域生活課長	川 俣 雄 二 君
健康福祉課長	高 橋 務 君	町民課長	中 川 三 彦 君
教育長	那 須 栄 一 君	教育委員会	佐 藤 啓 之 君
農業委員会会長	佐 藤 充 君	教育課長	
代表監査委員	金 野 周 悦 君	選挙管理委員会	佐 藤 正 喜 君
		委員長	

☆

出席した事務局職員

局 長 富 樫 博 樹 議事係長 鳥 海 広 行 書 記 高 橋 和 則

☆

本 会 議

議長(堀 満弥君) おはようございます。ただいまより第523回遊佐町議会3月定例会を開会いたします。

(午前10時)

議長(堀 満弥君) 本日の議員の出席状況は、全員出席しております。

なお、本定例会に説明員として町長初め各行政委員会の委員長、会長等の出席を求めましたところ、高橋会計管理者が欠席、その他全員出席しておりますので、報告します。

それでは、本日の会議を開きます。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりであります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により2番、松永裕美議員、3番、菅原和幸議員を指名いたします。

日程第2、本定例会の会期についてを議題といたします。恒例により、議会運営委員会、土門治明委員長より協議の結果について報告を求めます。

議会運営委員会、土門治明委員長、登壇願います。

議会運営委員会委員長(土門治明君) おはようございます。それでは、第523回遊佐町議会3月定例会の日程をご説明いたします。

去る2月13日及び2月21日、そして本日3月5日に議会運営委員会を開催し、協議した結果、次のとおり意見決定いたしましたので、ご報告いたします。

初めに、本定例会の会期については、本日3月5日から3月15日までの11日間といたしました。

審議日程につきましては、お手元に配付のとおりでございますが、次のとおりといたしました。本日は議会の構成を行い、次に諸般の報告として、議長報告、組合議会報告、一般行政報告、教育行政報告を行います。次に、報酬等に関する調査特別委員会の調査結果報告を行います。続いて、平成29年度一般会計補正予算の専決処分の承認についての件、平成29年度各会計補正予算6件を一括上程し、恒例により補正予算審査特別委員会を構成、審査を付託し、本会議を終了します。その後、各常任委員会を開きます。

第2日目の3月6日は、午前10時からおおむね午後3時まで補正予算審査特別委員会を行い、その後案文作成のため休憩に入ります。午後3時30分ごろから本会議を開き専決処分の審議及び採決、補正予算審査結果報告及び採決を行い、その後平成30年度施政方針に入り、終了次第散会いたします。

第3日目の3月7日は、一般質問4人を予定しております。その後、議員全員協議会を開きます。

第4日目の3月8日は、一般質問3人を予定しております。終了次第平成30年度各会計予算7件、条例案件19件、事件案件4件を一括上程し、予算については、恒例により予算審査特別委員会を構成、審査を付託し、本会議を終了します。

第5日目の3月9日は、終日各常任委員会を開きます。

第6日目の3月10日及び第7日目の3月11日は週休日のため休会いたします。

第8日目の3月12日は、終日各常任委員会を開きます。

第9日目の3月13日は、議案調査等のために休会いたします。

第10日目の3月14日は、終日予算審査特別委員会を開きます。

第11日目の3月15日は、午前10時からおおむね午後3時まで予算審査特別委員会を行い、その後案文作成のため休憩に入ります。午後3時30分ごろから本会議を開催し、条例案件19件の審議及び採決、予算審査結果報告及び採決、事件案件4件の審議及び採決を行います。終了次第第523回定例会を閉会いたします。議員各位のご協力をよろしくお願いいたします。

議長（堀 満弥君） お諮りいたします。

ただいま議会運営委員会委員長報告のとおり、本定例会の会期は本日3月5日より3月15日までの11日間としたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声多数）

議長（堀 満弥君） ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は11日間と決定いたしました。

日程第3、諸般の報告に入ります。

初めに、議長の報告を行います。

議長報告

1. 議員派遣について

会議規則第129条の規定により、議員を派遣した。

◎ にかほ市・遊佐町議会議員協議会総会及び研修会

○ 平成29年12月18日付

① 目的 両市町の共通課題を円滑に推進し、両市町の発展に資する。

② 派遣場所 秋田県 にかほ市

③ 期 日 平成30年2月1日（木）

④ 参 加 議 員

2. 系統議長会等について

◎ 庄内市町村議会議長会議

① 期 日 平成29年12月25日（月）

② 場 所 酒 田 市

③ 案 件

（1）平成29年度事業の総括について

（2）平成30年度事業の予定について

◎ 荘内地方町村議会議長会定期総会

① 期 日 平成30年2月2日（金）

② 場 所 庄 内 町

③ 案 件

議第1号 平成30年度庄内地方町村議会議長会事業計画について

(1) 連絡協調に関する事項

- ① 定例総会の開催
- ② 臨時総会の開催
- ③ 議長会議の開催

(2) 地方振興に関する事項

- ① 山形県町村議会議長会との連絡調整
- ② 最上地方町村議会議長会との合同会議
- ③ 置賜地方町村議会議長会との合同研修会
- ④ 庄内市町村議会議長会との連絡調整

(3) 研修に関する事項

- ① 議員全員研修
- ② 職員研修会

(4) 庄内市町村議会議長会との共同事業

- ① 議長・副議長・事務局長研修会(1回)
- ② 議員全員研修(1回)

議第2号 平成30年度庄内地方町村議会議長会一般会計予算について

予算総額 851千円

議第3号 平成30年度庄内地方町村議会議長会負担金の賦課及び納入について

人口割(35%) 財政割(35%) 平均割(30%)

遊佐町負担額 150,500円

◎ 山形県町村議会議長会第69回定期総会

- ① 期 日 平成30年2月16日(金)
- ② 場 所 山 形 市
- ③ 案 件

報告第1号 議長の異動

報告第2号 役員の選任

報告第3号 会務報告

報告第4号 平成29年度収入支出補正予算(第1号)

予算額 43,676千円

補正額 880千円

補正後 44,556千円

議案第1号 平成30年度事業計画並びに収入支出予算

予算総額 40,650千円

議案第2号 平成30年度会費分賦収入方法

平均割(30%) 人口割(35%) 財政力割(35%)

本町負担金 2,066,900円

議案第3号 決議

1. 地方創生の推進
1. 分権型社会の実現と道州制導入反対
1. 町村財政の強化
1. 町村議会機能の強化
1. 農林水産商工業振興対策の強化
1. 地域保健医療の向上及び医療保険制度の充実強化
1. 少子化対策の推進及び社会福祉対策の充実強化
1. 高速交通網の整備促進
1. 過疎・豪雪地域の振興
1. 地方議会議員公務災害補償制度の充実
1. 地方議会議員の厚生年金制度への加入実現

以上であります。

次に、組合議会報告を行います。

初めに、庄内広域行政組合議会について、小職より行います。

組合議会報告

平成30年2月13日

遊佐町議会

議長 堀 満 弥 殿

庄内広域行政組合
議員 堀 満 弥

組合議会報告について

組合議会に出席しましたので、次のとおり報告します。

記

1. 招集期日 平成30年2月13日(火) 午後3時30分
2. 場 所 ホテルリッチ&ガーデン酒田
3. 付議案件
 - 議第1号 平成29年度庄内広域行政組合庄内食肉流通センター事業特別会計補正予算(第1号)

補正前	945,764千円
補正額	23,729千円
補正後	969,493千円
 - 議第2号 平成30年度庄内広域行政組合一般会計予算

予算総額	18,307千円
------	----------
 - 議第3号 平成30年度庄内広域行政組合庄内地方拠点都市地域事業特別会計予算

予算総額	103,100千円
------	-----------

議第 4 号 平成30年度庄内広域行政組合青果市場事業特別会計予算

予算総額 143,435千円

議第 5 号 平成30年度庄内広域行政組合庄内食肉流通センター事業特別会計予算

予算総額 689,015千円

議第 6 号 平成30年度庄内広域行政組合市町分賦金

遊佐町分

広域行政分 681千円

青果市場分 752千円

食肉流通センター分 1,861千円

計 3,294千円

議第 7 号 庄内広域行政組合非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の制定について

議第 8 号 庄内広域行政組合職員の育児休業等に関する条例の制定について

議第 9 号 庄内広域行政組合職員の分限の事由並びに手続及び効果に関する条例の一部改正について

議第10号 庄内広域行政組合職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部改正について

4. 審議の結果

議第 1 号～議第10号 原 案 可 決

次に、酒田地区広域行政組合議会について、議員を代表して斎藤弥志夫議員より報告願います。
11番、斎藤弥志夫議員、登壇願います。

11番(斎藤弥志夫君)

組合議会報告

平成30年 2月23日

遊佐町議会

議 長 堀 満 弥 殿

酒田地区広域行政組合

議 員 斎 藤 弥 志 夫

議 員 佐 藤 智 則

組合議会報告について

組合議会に出席しましたので、次のとおり報告します。

記

● 12月臨時会

1. 招集日時 平成29年12月22日(金) 午前10時

2. 場 所 酒田地区広域行政組合議会議場

3. 付議案件

第 1 議会議長の選挙(酒田市選出議員の改選により議長が空席のため)

当選人 佐 藤 猛 議員 (酒田市)

第2 議席の指定

第3 会議録署名議員の指名

第4 会期の決定

第5 議会副議長の選挙（酒田市選出議員の改選により副議長が空席のため）

当選人 阿部ひとみ 議員（酒田市）

● 2月定例会

1. 招集日時 平成30年2月23日（金） 午後1時30分

2. 場 所 酒田地区広域行政組合議会議場

3. 付議案件

報第1号 専決事項の報告について（損害賠償の額の決定）

救急事案における自動車運転免許証紛失に関する損害賠償の額の決定の専決処分
（自動車運転免許証の再交付及び再交付までの間の交通費）

損害賠償額 69千円

報第2号 専決事項の報告について（建築工事の工期延長）

消防署遊佐分署改築工事の請負契約変更に係る専決処分

変更前 / 工期：平成29年7月6日～平成30年2月28日

変更後 / 工期：平成29年7月6日～平成30年3月15日

議第1号 平成29年度酒田地区広域行政組合会計補正予算（第2号）

補正前 3,417,222千円

補正額 11,502千円

補正後 3,428,724千円

議第2号 平成29年度酒田地区広域行政組合経費の分賦金の変更について

遊佐町分

清掃費分担金 変更前 61,745千円

変更額 △ 2,773千円

変更後 58,972千円

消防費分担金 変更前 177,079千円

変更額 △ 3,975千円

変更後 173,104千円

衛生費建設負担金 変更前 1,139千円

変更額 △ 37千円

変更後 1,102千円

消防費建設負担金 変更前 272,449千円

変更額 △ 8,899千円

変更後 263,550千円

議第3号 平成30年度酒田地区広域行政組合会計予算

予算総額		3,204,666千円
議第4号	平成30年度酒田地区広域行政組合経費の分賦金について	
	遊佐町分 清掃費分担金	67,964千円
	消防費分担金	186,423千円
	衛生費建設負担金	23,362千円
	消防費建設負担金	19,949千円
	合 計	297,698千円
議第5号	酒田地区広域行政組合火災予防条例の一部改正について	
議第6号	酒田地区広域行政組合手数料条例の一部改正について	
議第7号	酒田地区広域行政組合非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の制定について	
議第8号	酒田地区広域行政組合基金条例の廃止について	

4. 審議の結果

議第1号～議第8号 原案可決

以上です。

議長（堀 満弥君） 次に、一般行政報告について、本宮副町長より報告願います。

本宮副町長。

副町長（本宮茂樹君） おはようございます。

それでは、一般行政報告を申し上げます。

一般行政報告

平成30年3月5日

1、災害発生時の対応と平常時における高齢者見守り活動の相互協力及び道路損傷等発見時の対応に関する協定の締結について。2月8日、遊佐町内郵便局及び酒田郵便局と災害発生時の対応と平常時における高齢者見守り活動の相互協力及び道路損傷等発見時の対応に関する協定を締結しました。この協定は日常の防災活動及び大規模災害発生時の対応だけでなく、平常時に郵便局の行っている業務の範囲内で、高齢者見守りや道路損傷や不法投棄に関する情報提供等に協力いただくものです。

2、遊佐町公衆無線LAN環境整備事業について。災害時の避難所である各地区まちづくりセンター、防災センター、小学校5校、中学校1校等に無線LANのアクセスポイント17カ所を設置し、災害発生時に情報収集できる環境を整備しております。また、平時には行政情報、観光情報など町の情報発信に活用いたします。平成30年4月より運用を開始する予定です。

3、振興審議会について。10月30日に町長が諮問しておりました遊佐町総合発展計画の第2期実施計画案については、各部会等での慎重審議を経て、12月12日に答申をいただきました。

4、水循環保全審議会について。1月26日、遊佐町水循環保全審議会を開催し、8名の委員に委嘱状を交付するとともに、会長及び副会長の選出を行い、水循環保全計画の推進について協議しました。

5、水循環の保全をめぐる係争について。12月5日、山形地方裁判所において、採石事業に対する行政処分取消等請求事件の第4回口頭弁論が行われ、原告である採石業者と被告である町の双方からそれぞれの主張を記した準備書面が提出されました。なお、第5回口頭弁論は3月5日が開催期日となっております。

す。

6、国際交流事業について。12月11日、姉妹都市ハンガリー・ソルノク市派遣事業の派遣団員任命式が行われ、13名の団員が3月21日に出発します。

7、山形ふるさとCM大賞での大賞受賞について。第18回山形ふるさとCM大賞において、遊佐町から出品された「日本でイチバン大きい数の町」が最高賞である大賞を受賞し、二連覇を果たしました。今回も地域おこし協力隊を初め多くの若者たちが制作に参加しました。

8、地域おこし協力隊「こんなことできるかな？プロジェクト」活動について。遊佐中学校の授業の一環で出された町への提言を受け、今後の授業への活用と、町政に関心を持ってもらうことを目的に、協力隊が「こんなことできるかな？プロジェクト」として、提言に対する町担当課からの回答を取りまとめ中学校に返答し、さらに役場庁舎、生涯学習センターに掲示しました。

9、鳥海山・飛島ジオパーク推進事業について。鶴岡信用金庫からの「鳥海山・飛島ジオパーク認定記念定期預金」事業にかかわる寄附金を活用し、ジオパーク床地図マットを作成し役場内に設置しました。今後、町内公共施設、各種イベント会場に設置し、ジオパークのさらなる周知を図ります。

10、遊佐パーキングエリアタウン整備計画について。12月21日、遊佐PAT整備勉強会を開催し、国土交通省及び山形県と今後の方向性について意見交換を行いました。また、2月26日、日沿道建設促進遊佐町期成同盟会、遊佐PAT計画検討委員会及び同ワーキンググループ合同の視察研修を行い、宮城県の「あ・ら・伊達な道の駅」、「道の駅林林館」、「道の駅三滝堂」及び「道の駅上品の郷」の視察を行いました。

11、ふるさとづくり寄附金について。2月20日現在の申し込みが2万9,000件、3億4,955万3,225円となり、前年同時期1万2,634件、1億7,586万7,009円を大きく超える件数、金額となりました。また、黒松林の保全のためのクラウドファンディングによる寄附については、24件、43万4,000円の申し込みをいただいております。平成29年寄附分の寄附金税額控除に係る申告特例、いわゆるふるさと納税ワンストップ特例については、770の市区町村に対し、5,827件の申告特例通知書を送付しております。

12、定住促進施策について。(1)、平成27年度空き家実態調査の追跡調査が、集落支援員と地域との連携により12月から実施されています。2月中には全集落の追跡調査が終了するため、この1年で新たに空き家と認定された住宅の所有者に対し空き家バンク制度の周知を行い、登録を促進してまいります。

(2)、定住促進空き家活用住宅第9号(駅前二区)住宅の入居者選定のための第5回空き家利活用部会が開催されました。その結果、2月20日には新たな移住者3名を迎えることができました。また、現在整備中の第10号(十里塚)住宅は、3月16日完成、3月下旬には内覧と入居者募集を行う予定です。

13、遊佐町結婚推進支援事業について。結婚支援推進員(ながどクラブ)では、1月28日に会員向けの研修会を開催しました。鶴岡市で活動を行っている「つるおか婚シエルジュ」の三浦明弓氏を講師に迎え、個別の世話やき活動(1対1のお見合い)などの婚シエルジュ活動について学ぶことができました。また、2月2日に開催した「男の身だしなみアップ実践講座」では、第一印象を重要な要素としたTPOに合わせた着こなしやネクタイ等の選び方などを学びました。2月17日には、酒田市結婚サポーターとの合同情報交換会を開催、遊佐町結婚支援推進員2名が参加して成婚事例や課題などを話し合いました。会員内の活動量の差や、婚活者の意識の改革などさまざまな課題が共有できました。活発に活動している鶴岡市の

つるおか世話やき委員会、酒田市の酒田市結婚推進員（ともに非常勤特別職で役所に勤務）を参考に、より具体的に安心して相談できる体制について検討してまいります。

14、若者交流事業実行委員会について。1月25日、にかほ市の若手職員10名と遊佐町若者交流事業実行委員会10名が合同の研修会を開催しました。ヤマガタ未来ラボの田中麻衣子氏から「人が集まるイベントの起こし方・宣伝の仕方」として、婚活に絞った内容だけでなくイベント企画における考え方やSNS等を使った宣伝について学ぶことができました。にかほ市との交流も2年目となり、地域や部署を超えてさまざまな情報交換をすることができました。今後も合同研修会を開催し、研修内容をこれからのイベントに生かしてまいります。

15、ゆざ町鱈ふくまつりの開催について。1月21日、マルチドームふれんどりいにおいて、第23回ゆざ町鱈ふくまつりが開催されました。町内外から多くの観光客が訪れ、冬の味覚、寒ダラにフグを加えた名物の「鱈ふく汁」は、用意した700食全てが完売する盛況となりました。また、アトラクションでは環鳥海新春太鼓そろい打ちとして、本町の鳥海太鼓保存会に加え、にかほ市からも2団体が参加し、会場を盛り上げていただきました。

16、町内のすぐれた観光資源について。山形県が選定する「里の名水やまがた100選」に、今年度10カ所が新たに選定され、本町から釜磯、滝ノ水、丸池様、牛渡川の4カ所が選定されました。本町では既に胴腹滝、神泉の水、鳥海三神の水が選定されており、これで県が選定した33カ所のうち、本町の湧水が7カ所となりました。また、山形県の眺望景観資産に「大平展望台からの庄内平野と海岸の眺め」が指定されました。眺望景観資産は県景観条例に基づき、将来に引き継ぐべき県内の眺めを知事が指定するものです。大平から見おろす庄内平野や砂防林、海岸の眺めが評価され、県の景観審議会を経て指定になりました。今後はこれらのすばらしい魅力を発信していくとともに、観光振興や環境保全につなげていきたいと考えております。

17、鳥海山二ノ滝氷柱トレッキングの開催について。2月11日、鳥海山二ノ滝氷柱トレッキングが開催され、町内外から約60名の参加をいただきました。ことしは寒波の影響もあり、例年より見事な氷柱が見られ、自然の造形美と冬の鳥海山の魅力を満喫していただきました。

18、園芸大国やまがた山地育成支援事業について。園芸農産物の算出額拡大を目的とした農業用施設等の導入に際しての県単独補助事業で、平成29年度は4件の交付決定を受け、現在年度末までの竣工、補助金交付に向けて建設、導入が進んでいます。事業費総額は4,498万5,000円で、県補助金額が1,850万6,000円、町補助金額で1,110万4,000円を予定しています。

19、松くい虫防除事業について。秋季の松くい虫被害木調査を実施した結果、過去最大となった昨年度と比較して民有林で約28%程度被害量が減少しました。早期の被害終息化に向けて、国、県と連携し、6月初旬の羽化前の全量駆除を目標に、伐倒駆除事業に取り組んでいます。

20、地域水産物供給基盤整備事業について。漁港への漂砂流入解消のため、平成23年から実施してまいりました吹浦漁港西第2防波堤延伸工事については、昨年10月に完成しました。来年度は、工事完成後の漂砂流入状況調査の結果を受け、水域内のしゅんせつ工事を実施する予定です。また、今年度新規に取り組んでいる漁場造成事業については、女鹿海岸において引き続き藻場造成及び岩ガキ増殖礁の設置に係る調査を実施しています。

21、企業立地について。吉出地内での「ウイスキー蒸留所」建設が進められているほか、鳥海南工業団地においては立地が決定した金属加工業の企業1社が早ければ3月中にも着工の見通しとなっており、また進出を希望している「木質バイオマス発電所」については、町内ほか酒田市の近隣自治会でも説明会を開催しております。

22、遊佐ビジネスネットワーク協議会について。2月6日、遊楽里において「ビジネス研修会」が遊佐ブランド推進協議会との共催で開催され、山形県社会保険労務士会浦山会長より「中小企業の働き方改革」と題して講演をいただきました。協議会会員事業所ほか、町内事業所等から32名の参加がありました。

23、遊佐ブランド推進協議会事業について。厚生労働省委託事業である「実践型地域雇用創造事業」による、求職者向けの人材育成メニュー「おもてなしのカレレベルアップセミナー」、事業所向けの雇用拡大メニュー「農林水産業活性化セミナー」を開催しました。3月10日には、今年度の成果報告会が開催されます。

24、住宅支援事業について。住宅支援事業の2月19日現在の受け付け状況は、持ち家住宅リフォーム支援金171件（内下水道等接続工事46件）、定住住宅新築支援金21件、定住住宅取得支援金13件、住宅リフォーム資金利子補給制度5件となっております。

25、L A S- E 共通実施項目監査について。1月23日から24日までの2日間にわたり、環境自治体として環境マネジメントシステム・L A S- E の共通実施項目の監査を行いました。町民による外部監査員制度を取り入れ、公共施設や指定管理者施設まで幅広く実施しました。各部署、施設においてエコ活動に対する工夫した取り組みが見られ、省エネ活動に対する意識が定着し、積極的に行動されていることを確認しました。

26、ゆざ町民省エネ節電所「ゆざ町民エコチャレンジ」総括イベントについて。町民参加型事業「ゆざ町民エコチャレンジ」事業の総括イベントが12月10日に開催されました。上位節電達成者の表彰式、事業経過報告、省エネ、リサイクルに係る作品紹介、講話といった内容で行いました。

27、遊佐町再生可能エネルギー設備導入事業費補助金について。再生可能エネルギー設備導入事業の2月15日現在の受け付け状況については、太陽光発電設備16件、木質バイオマス設備2件、合わせて18件の交付申請を受けています。

28、下水道事業について。特定環境保全公共下水道事業については、上蕨岡坂下集落の一部と大蕨岡集落を整備中ではありますが、順調に進捗しており、年度内の供用開始を予定しています。2月末現在の下水道の接続状況は、公共下水道区域では供用開始戸数3,928戸のうち2,811戸で、接続率71.6%となっております。農業集落排水区域では、供用開始戸数511戸のうち422戸で、接続率82.6%となっております。

以上です。

議長（堀 満弥君） 続いて、教育行政報告について、那須教育長より報告願います。

那須教育長。

教育長（那須栄一君） 申し上げます。

教育行政報告

平成30年3月5日

1、教育委員会会議の開催状況。1月30日と3月3日に開催し、遊佐町立学校適正整備審議会への諮問

や遊佐町生涯学習推進計画の策定、平成30年度の教職員人事案件について議案を可決しました。

2、遊佐町立学校適正整備審議会について。2月15日に第1回目の審議会を開催しました。設置条例に基づき、地域やPTA代表など18名の審議会委員を委嘱し、会長を互選した後、諮問を行いました。平成23年度の審議会答申に基づく町教育委員会の方針や、現在の児童数と出生数をもとにした将来児童数の推計資料などを提示し、12月末をめどに最終答申をまとめてもらう予定です。

3、学校運営について。季節性インフルエンザの罹患者が、例年同様に発生しております。町内での発生状況を情報共有しながら、各校とも適切な対応をとり、感染拡大の防止に努めております。2月初旬から中旬に年度末経営訪問を実施し、今年度の各校の成果と課題を聞き取り、さらなる学校経営の充実に向けて指導助言を行いました。1年間の締めくくりの時期を迎え、どの小中学校でも児童生徒一人一人が夢と希望を持って進級、進学を果たせるように力を入れております。

4、学校施設等整備について。学校施設整備に係る工事については、次のとおり完成しました。12月26日、藤岡小学校給食室工アコン整備工事。

5、遊佐高校就学支援事業について。キャリアアップ支援事業として、1人当たり6万円の普通自動車運転免許取得支援金を2月16日時点で11人、計66万円を給付しています。

6、コミュニティ・スクールの実施について。今年度のモデル校である遊佐小学校では、第3回学校運営協議会を2月20日に開催しました。平成30年度の学校運営の重点とPTA活動についての協議が行われました。また、来年度より全小中学校での学校運営協議会の設置に向けた準備を進めており、保護者や地域の方々にはパンフレットや広報を活用しながら周知を図っているところです。

7、遊佐の小正月行事を含む「来訪神 仮面・仮装の神々」のユネスコ世界無形文化遺産登録の審査日程について。審査会がことし11月26日から12月1日の日程で、インド洋にあるモーリシャス共和国で行われることになりました。また、それに先立ち、文化庁文化財部伝統文化課調査官が1月6日に行われた鳥崎集落のアマハゲ、ホンデ焼き等の行事を視察しました。

8、社会教育関係の会議について。2月20日に社会教育委員・スポーツ推進審議委員会合同会議を開催し、今年度策定する生涯学習推進計画及びスポーツ推進計画の最終的な取りまとめを行いました。昨年度からの合同ワークショップを皮切りに、目指す方向性について両計画の共通認識を深めるとともに、今後の推進に向けた情報交換を行いました。

9、二十歳のつどいについて。1月7日、成人式式典終了後、パレス舞鶴で二十歳のつどいを開催しました。実行委員会の独自の企画のもと、116名の新成人が参加しました。委員会の活発な企画力が発揮され、中学時代の恩師や来賓の方々を囲み、盛大で楽しいパーティーとなりました。

10、青少年育成活動について。2月15日に青少年育成協議会を開催し、今年度の青少年育成事業の実績といじめ防止基本方針に係る取り組みについての総括を行いました。また、来年度から全小中学校に導入するコミュニティ・スクール制度について、遊佐小学校をモデルとする取り組み事例を共有し、今後の学校運営協議会の持ち方などの意見交換と共通認識を深めました。

11、少年町長・少年議会について。12月22日に第3回少年議会を開催し、第15期の活動報告を行いました。今期の少年議会では、活動内容をより知ってもらおうと、町民体育館の外階段に「米～ちゃん」の階段アートを行ったほか、「米～ちゃん」ベンチを製作し、遊佐駅など町内4カ所に設置しました。また、

フォトコンテストでは、一般を含む20点の応募作品を遊佐中学校や生涯学習センターに展示し、活動を広く町民にPRすることができました。

12、「遊's リンピック2018 室内雪合戦」の開催について。2月10日土曜日に町民体育館にて総合型スポーツ文化クラブ「遊's」による冬期イベントが開催されました。当日は、小学生から大人まで6チームが参加し、総当たり戦で対戦しました。各チームとも熱い戦いを繰り広げ、会場が大いに盛り上がりました。

13、図書館事業について。12月16日にクリスマスお話を開催し、ボランティアによる人形劇やペープサートなどで、子供42人、大人23人が楽しいひとときを過ごしました。

以上です。

議長(堀 満弥君) 以上で諸般の報告を終了いたします。

次に、日程第4、報第1号 報酬等に関する調査特別委員会調査結果報告についてを議題といたします。

報酬等に関する調査特別委員会、土門勝子委員長、登壇願います。

報酬等に関する調査特別委員会委員長(土門勝子君)

報第1号

平成30年3月5日

遊佐町議会

議長 堀 満 弥 殿

報酬等に関する調査特別委員会
委員長 土 門 勝 子

報酬等に関する調査特別委員会調査結果報告

本特別委員会に付託された報酬等に関する調査について、調査の結果を別紙のとおり報告します。

報酬等に関する調査特別委員会調査結果報告

1. 調査事件

遊佐町議会議員の報酬等について。

2. 調査結果

議員報酬は、おおむね24万円程度が適正であると思慮する。

3. 調査経過

特別委員会を8回、小委員会を8回開催し、全国や県内の市町村議会の報酬等について現状を調査するとともに、遊佐町議会基本条例に基づき、参考人として町民代表の意見の聴取を行った。参考人の意見は、全国や県内の議員報酬の支給状況を勘案し、また議会活動の活性化を条件に、金額の幅はあるものの、増額すべきであるとの意見が多かった。特別委員会においても、議員個人の考えに開きはあるがおおむね増額すべきであるとの意見が多かった。

また、遊佐町議会においては、定数減などの経過を経て、議員一人一人の活動量が増大している。今後も議会活動に対する要請は高まるものと思われる。

これらの意見などを参考にしながら、当特別委員会で意見を集約し、今後の議会活動の活性化に資するため、月額24万円程度の報酬額が適正であるとの結論とした。

4. 委員会開催日

「特別委員会」

第 1 回委員会	平成29年 9 月15日	(全員出席)
第 2 回委員会	平成29年12月22日	(全員出席)
第 3 回委員会	平成30年 1 月11日	(全員出席)
第 4 回委員会	平成30年 1 月17日	(全員出席)
第 5 回委員会	平成30年 1 月25日	(全員出席)
第 6 回委員会	平成30年 2 月 5 日	(10名出席)
参考人意見聴取会	平成30年 2 月19日	(10名出席)
第 7 回委員会	平成30年 2 月19日	(10名出席)
第 8 回委員会	平成30年 2 月28日	(全員出席)

「小委員会」

第 1 回小委員会	平成29年12月25日	(4 人出席)
第 2 回小委員会	平成30年 1 月11日	(4 人出席)
第 3 回小委員会	平成30年 1 月17日	(4 人出席)
第 4 回小委員会	平成30年 1 月25日	(4 人出席)
第 5 回小委員会	平成30年 1 月29日	(3 人出席)
第 6 回小委員会	平成30年 2 月 2 日	(4 人出席)
第 7 回小委員会	平成30年 2 月21日	(4 人出席)
第 8 回小委員会	平成30年 2 月28日	(4 人出席)

5. 調査の記録

委員会条例第27条に規定する本特別委員会の記録は、別途整理の上提出する。

議長(堀 満弥君) 次に、日程第5から日程第11まで、議第1号 平成29年度遊佐町一般会計補正予算(第6号)の専決処分の承認について、議第2号 平成29年度遊佐町一般会計補正予算(第7号)ほか特別会計等補正予算5件を一括議題といたします。

事務局長をして朗読いたさせます。

富樫議会事務局長。

局長(富樫博樹君) 上程議案を朗読。

議長(堀 満弥君) 提出者より提案理由の説明を求めます。

時田町長。

町長(時田博機君) それでは、私から提案理由を申し述べさせていただきます。

議第1号 平成29年度遊佐町一般会計補正予算(第6号)の専決処分の承認について。本案につきましては、本年1月から2月にかけて平年を超える降雪による除雪経費の不足に対応するため補正予算編成が必要となったことから、地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分したものであり、歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,800万円を増額し、歳入歳出予算の総額を85億600万円としたものであります。歳入につきましては、総額2,800万円を増額で、内訳は全額交付税であります。一方、これに対応する歳出につ

きましては、除雪経費の委託料で2,500万円、修繕料で300万円をそれぞれ増額し、歳出補正総額で2,800万円を増額したものであります。

議第2号 平成29年度遊佐町一般会計補正予算(第7号)。本案につきましては、年度末を控え、各般の事業も最終段階を迎えている中、事業費やそれに伴う補助金などの財源について精査を行い、歳入歳出予算の総額にそれぞれ5,800万円を増額し、歳入歳出予算の総額を85億6,400万円とするものであります。

歳入の主な内容を申し上げますと、町税で8,650万円、地方交付税で1億186万3,000円をそれぞれ増額、国・県支出金では対象事業費の精査に伴う増減の結果3,198万1,000円を減額、寄附金では環境衛生事業寄附金で3,000万円を増額するなど3,080万円を増額、繰入金では義務教育施設整備基金繰入金で1,200万円、観光施設整備基金繰入金で2,355万円をそれぞれ減額するなど3,775万4,000円を減額、町債では過疎債ソフト事業分を追加する一方、対象事業費の精査に伴う減額により1億180万円を減額するなど歳入補正総額で5,800万円を増額計上するものであります。

一方、これに対応する歳出の主なものを申し上げますと、総務費では庁舎等建設基金積立金で2億円を増額するなど2億1,059万9,000円を増額、民生費では医療給付費の精査などにより2,679万9,000円を減額、衛生費では環境保全基金積立金で3,090万円を増額するなど2,290万2,000円を増額、農林水産業費では松くい虫防除事業で2,000万円を増額するなど1,513万6,000円を増額、商工費では観光施設整備基金積立金で4,772万7,000円を増額するなど4,798万円を増額、土木費では若者定住町営住宅建設事業費の精査などにより2億40万1,000円を減額、その他事業費の精査等により歳出補正総額で5,800万円を増額計上するものであります。

なお、繰越明許費の追加については、企業開発推進事業に係る補助金など、平成30年度に繰り越して実施する必要がある7件の事業を計上するものであります。

議第3号 平成29年度遊佐町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)。本案につきましては、一般被保険者療養給付費、給付基金利子積立金の増額が主なものであり、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億4,800万円を増額し、歳入歳出予算の総額を20億8,250万円とするものであります。

歳入について申し上げますと、県支出金で1,721万9,000円、共同事業交付金で5,920万円をそれぞれ減額し、療養給付費等交付金で1,780万円、前期高齢者交付金で1,455万円、繰入金で270万円、繰越金で1億8,936万9,000円をそれぞれ増額するものであります。

一方、これに対応する歳出につきましては、総務費で130万円、健康事業費で276万4,000円をそれぞれ減額し、保険給付費で3,176万円、基金積立金で9,930万4,000円、諸支出金で2,100万円をそれぞれ増額するものであります。

議第4号 平成29年度遊佐町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)。本案につきましては、遊佐町公共下水道事業に係る一般管理費、下水道建設費の見直しにより、歳入歳出予算の総額からそれぞれ1,610万円を減額し、歳入歳出予算の総額を7億9,900万円とするものであります。歳入について申し上げますと、負担金で30万円、繰入金で350万円をそれぞれ増額し、補助金で1,640万円、雑入で350万円をそれぞれ減額するものであります。一方、これに対応する歳出につきましては、総務管理費で60万円を増額し、下水道建設費で1,670万円を減額するものであります。

議第5号 平成29年度遊佐町介護保険特別会計補正予算(第4号)。本案につきましては、今年度の介

護保険給付費実績見込みを踏まえた補正が主なものであり、歳入歳出予算の総額からそれぞれ4,000万円を減額し、歳入歳出予算の総額を19億1,340万円とするものであります。歳入について申し上げますと、保険料で1,207万1,000円、財産収入で6万6,000円、前年度繰越金で2,291万3,000円をそれぞれ増額し、国庫支出金で1,700万円、支払基金交付金で2,800万円、県支出金で1,300万円、繰入金で1,705万円をそれぞれ減額するものであります。一方、これに対応する歳出につきましては、介護予防サービス等諸費で170万円、基金積立金で6万4,000円、償還金及び還付加算金で18万6,000円をそれぞれ増額し、総務費で705万円、介護サービス等諸費で2,790万円、地域支援事業費で700万円をそれぞれ減額するものであります。

議第6号 平成29年度遊佐町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)。本案につきましては、決算見込みによる特別徴収保険料及び普通徴収保険料の増に伴う後期高齢者医療広域連合納付金の増、また保険基盤安定繰入金の減及び前年度の山形県後期高齢者医療広域連合事務費負担金精算に伴う一般会計繰出金の増が主なものであり、歳入歳出予算の総額にそれぞれ750万円を増額し、歳入歳出予算の総額を1億7,490万円とするものであります。歳入について申し上げますと、特別徴収保険料で500万円、普通徴収保険料で396万円、事務費負担金精算金で49万円をそれぞれ増額し、保険基盤安定繰入金で195万円を減額するものであります。一方、これに対応する歳出につきましては、後期高齢者医療広域連合納付金で724万8,000円、一般会計繰出金を主な支出とする諸支出金で57万2,000円をそれぞれ増額し、保険料還付金で30万円、還付加算金で2万円をそれぞれ減額するものであります。

議第7号 平成29年度遊佐町水道事業会計補正予算(第4号)。本案につきましては、平成29年度水道事業会計予算における第3条に定めた収益的支出について、営業費用の総係費で12万円、営業外費用の雑支出で47万円をそれぞれ増額し、水道事業費用予定額を5億819万1,000円とするものであります。また、予算第4条に定めた資本的収入について、企業債で5,500万円、補助金で3,181万8,000円をそれぞれ減額し、出資金で1,392万円を増額し、資本的収入予定額を1億8,647万2,000円とするものであります。これに対応する資本的支出につきましては、建設改良費で9,950万円を減額し、資本的支出予定額を3億8,859万5,000円とするものであります。なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額2億212万3,000円につきましては、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額637万5,000円、当年度分損益勘定留保資金1億4,709万9,000円及び建設改良積立金取り崩し4,864万9,000円で補填するものであります。

以上、専決予算案件1件、補正予算案件6件についてご説明申し上げます。詳細につきましては、所管の課長をして審議の過程で説明いたさせますので、よろしくご審議の上、議決くださいますようお願い申し上げます。

以上であります。

議長(堀 満弥君) 次に、日程第12、補正予算審査特別委員会の設置についてを議題といたします。

議第2号 平成29年度遊佐町一般会計補正予算(第7号)ほか特別会計等補正予算5件については、恒例により、小職を除く議員11名による補正予算審査特別委員会を構成し、審査を行うことにしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

議長(堀 満弥君) ご異議なしと認めます。

よって、会議規則第39条の規定に基づき、補正予算審査特別委員会に付託し、審査することに決ま

た。

お諮りいたします。それでは、補正予算審査特別委員会委員長に総務厚生常任委員会委員長の松永裕美議員、同副委員長に筒井義昭議員を指名したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

議長(堀 満弥君) ご異議なしと認めます。

よって、補正予算審査特別委員会委員長に松永裕美議員、同副委員長には筒井義昭議員と決しました。

補正予算審査特別委員会が終了するまで本会議を延会いたします。

(午前11時21分)